



7保連第3号

(令和8年3月)

発行：宇治市乳幼児教育・保育支援センター

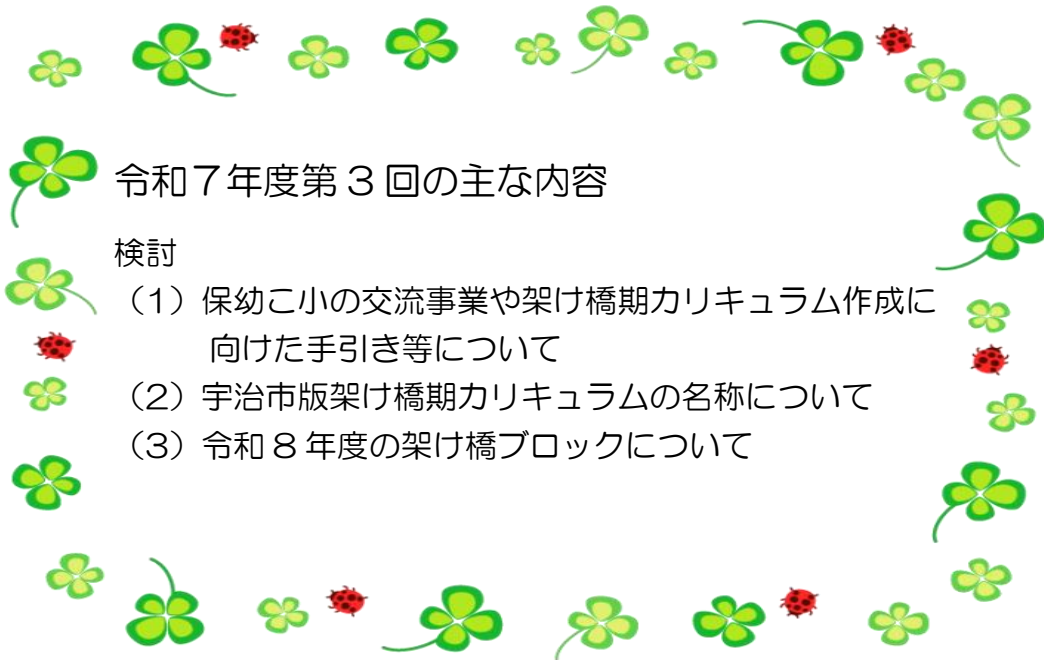
アドレス：nyuyojicenter@city.uji.kyoto.jp



乳幼児教育・保育推進事業 通信  
～令和7年度 保幼小連携専門部会～



令和8年2月9日(月)に、令和7年度第3回宇治市乳幼児教育・保育推進協議会 保幼小連携専門部会を開催いたしました。  
部会の様子をお知らせします。



令和7年度第3回の主な内容

検討

- (1) 保幼小の交流事業や架け橋期カリキュラム作成に向けた手引き等について
- (2) 宇治市版架け橋期カリキュラムの名称について
- (3) 令和8年度の架け橋ブロックについて

専門部会とは

「研究・研修」「保幼小連携」「発達・子育て支援」の推進にあたり、現状の把握、課題抽出、対応策の検討、研究・研修の企画実施について、乳幼児教育・保育の実務をよく知る職員の意見を反映できる仕組みとするために設置したもの。



## ○検討

### (1) 保幼小の交流事業や架け橋期カリキュラム作成に向けた手引き等について

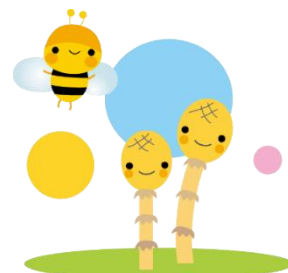
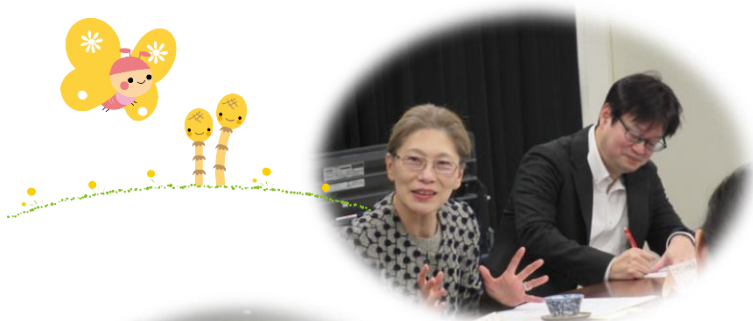
- ・チラシ 1 枚になって非常にわかりやすくなった。
- ・ホームページとリンクするような文言に統一した方がよい
- ・各園の取組を知ることによって交流につなげたりなど、保幼小連携推進につながる場所に資するホームページになるとよい
- ・継続性という観点から、ブロックの中でねらいによっていろいろ取組が変わっていくことが見える方がよい。
- ・交流事業のまとめは事務局でやっていただくとありがたい。
- ・交流事業を実施した側の意見をホームページ等で伝える機会があるとよい。
- ・キラッと子ども姿を集めたページがホームページにあるとよい。

### (2) 宇治市版架け橋期カリキュラムの名称について

- ・「架け橋」という言葉は接続やともに手を結ぶという意味もありよいと思う。
- ・「架け橋」という言葉が定着しつつあるから残した方がよい。
- ・「プログラム」というのは、交流事業そのものと交流事業の内容が架け橋のプログラムというもので 1 つの具体的な形である。
- ・長い名称より短くキーワードのようなものが言いやすい。

### (3) 令和 8 年度の架け橋ブロックについて

- ・保幼小連携の取組を推進していくための足掛かりとして架け橋ブロックを作ったが、ブロックではない施設との交流も継続してしていく。
- ・にしおぐら学園の開校に伴うブロックの統合は施設数が多いが、当面は 1 つのブロックとして進めていく。



## 宇治市乳幼児教育・保育支援センターとは

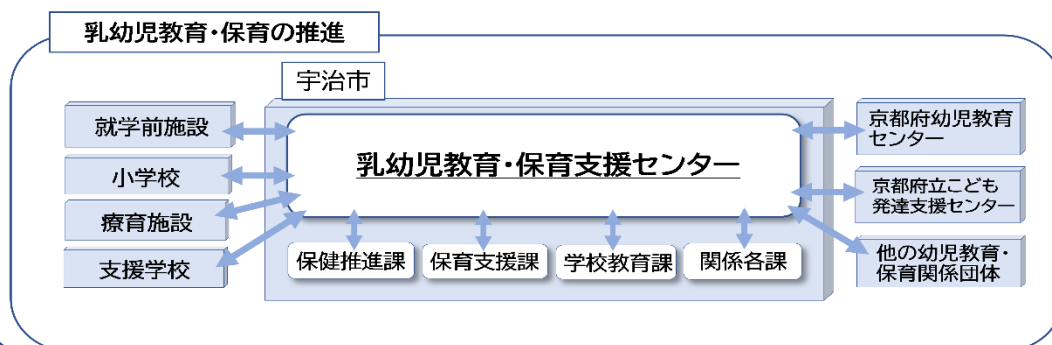
宇治市乳幼児教育・保育支援センターは、全ての就学前施設が施設類型を越えたネットワークを構築し、乳幼児期の子どもたちの状況や課題を共有するとともに、将来を担う子どもたちが健やかに成長できるよう、次の3つの機能に基づく施策を推進することにより、保育士、教諭等の人材育成を図り、もって乳幼児教育・保育の質の向上に資することを目的として、令和7年4月に開設しました。

### <3つの機能>



宇治市では、センターにおいて、就学前施設、小学校、療育施設及びその他の関係機関が連携・協働できるようコーディネートすることにより、施策を推進します。

### <連携・協働のイメージ>



## 宇治市乳幼児教育・保育推進協議会とは

すべての就学前施設が施設類型を越えたネットワークを構築すべく、乳幼児期の子どもたちの状況や課題を共有し、連携、協働して研究・研修を行うことで、教育・保育の質の向上及び人材育成を図るとともに、各施設間、家庭・地域の教育・保育力の確保・向上を支援するため、設置したもの。